

## 小田原労働基準監督署

# 「サービス残業で調査」

### 使用者に 労働時間 を把握す る義務が ある

### 実態つかめ ずと回答

今年2月、電機労働者懇談会が行った春闘アンケートに「土曜日、日曜日も出勤で主人の身体が心配です」「月百時間ものサービス残業何とかして下さい」など悲痛な訴えが数件ありました。

2001年4月厚生労働省はサービス残業解消通達「労働時間の適正な把握のために使用者が構すべき措置に関する基準」で「使用者に労働時間管理を適正に把握する責務がある」ことを明確にし、



「労働日」ことに始業・就業時刻を使用者が確認し記録する必要がある」として全国的な行政指導を行いました。

小田原労働基準監督署は要請に従い4月22日、日立製作所小田原事業所内の、HGS T及び関連2社に対し、サービス残業の実態調査に取りました。調査結果では時間管理が自己申告制となっていて、

実際の出退勤時間と、支払われた残業手当との関係が明らかにできず、サービス残業の証拠が掴めませんでした。事実が明らかになればすぐ指導することです。

過労死、過労自殺が社会的問題になり、その背景としてサービス残業が摘発される中、この実態を覆い隠す様に国会では、労使協議でホワイトカラー全般に裁量労働、みなし労働適用を認める法律の採決を強行しました。

### アメリカでも「カロージ」の心配

米国でも公正労働基準法を改正して、時間外賃金カットの導入を策しています。さらにホワイトカラーに対する時間外賃金の不適用範囲を拡大する改正案を発表。管理職や専門職の範囲を拡大するもので、日本での裁量労働制の拡大と同様です。アメリカの辞書にも「カロージ」が登場するのはと指摘されています。

### ただで働かせること犯罪

本人・家族の告発によって、労働基準監督署が残業代不払いを摘発して、残業代を支払わせるなど、是正させた例がいまも続いています。

裁量権もないのに残業代だけが抑えられ、働く時間ではなく成果だというのが、個人がいくらがんばっても事業部全体の業績が悪ければ賃金は上がりません。

本来、労働者の自由な時間を拘束し働かせることにペナルティーとして規定の割り増し賃金を支払うのは当然の事です。ただで働かせることは犯罪になります。



阪神タイガースの快進撃が続いています。タイガースファンはたまらないでしょう。風呂上りのあとビール片手にナイター観戦、こ

れが夏の夜のサラリーマンの正しい過ごし方でした。今、世界の舞台で日本人プレイヤーの活躍が目につきます。野球では野茂、イチローそして松井の大リーガーたち。サッカーでは中田英、小野、中村俊輔そして柳沢まで、本場ヨーロッパ各地のピッチに立っています。女子テニス界では杉山愛選手が全英ダブルス優勝しました。ベルギーのキム・クライシテルス選手とペアを組んで六月の全仏大会に続く優勝です。大相撲では武蔵丸や朝青龍、旭天鵬、モンゴル勢はじめ外国人力士の活躍が相撲ファンを沸かせています。スタープレイヤーの海外移籍で人気スポーツの空洞化すすんでいます。スポーツ界での国際化は常識ですが、世界に通用しない競技やプレイヤーは注目されなくなりません。その意味で心配なのは、十月に豪州で開幕する第5回W杯にアジア代表として出場するラグビー日本代表です。日本は今年の公式戦で米、ロシア、豪州Aにも敗れ、韓国に勝つただけ1勝6敗、強化試合で完敗を続けたからです。「ジャパンは世界で戦う力がないのか」。ラグビーファンの不安が広がっています。持ち前のスピードでまず一勝してもらいたい、ファンのねがいです。それから、代表ジャージ、胸の「リポビタンD」何とかありませんか。

計画年休を利用して北海道を旅行した。各地のホームページを参考に

考にして日程を決め、町興し、開発の歴史、特産品など観ながらゆつたりとした時をすごすことができた。

今年の北海道は殊のほか寒かったようで、ハマナスやアヤマはまだ咲いてはいず、わたすげの群落も咲き始めたばかりで、桜も残っていた。

詳細に記録されている。北海道への最初の大規模入植者は、反政府運動や民主化運動の運動家を捕らえ、刑事囚などと一緒に入植させた囚人労働が始まりのよう、屯田兵村の設置や民間人入植とつづき、幾多もの離農入植が繰り返され、現代でもつづいている。

広大な台地に網の目のように整備された道路の恩恵をうけて渋滞しらずの快適さ、日頃某公団への文句も忘れてすばらしいを連発することに。時期的に海岸沿いは霧が発生するよう、梅雨のない北海道を実感し、霧多布岬では霧をタツプリとあじわった。

「ひろば」は  
下記URLに掲示しています。  
<http://www.hitachikon.net>  
yahoo検索【日立関連労働者懇談会】



豊頃町ハルニレの大木

## フリータは不都合？

今、小田原RSDなど多くの製造職場で青年労働者が働いています。そのほとんどが有期雇用や、人材派遣など不安定な雇用形態の若者たちです。内閣府のまとめでは若年フリータが417万人と言われています。

政府は「働く気にならなければ就職しない」「需要と供給のミスマッチ(不適合)」と若者の責任にしています。しかし政府調査でもフリータの七割が正社員を希望しています。問題は、正社員になれない、希望する仕事に就けないということではないでしょうか。

RSDではリストラをすすめ、職場ごと業務請け負いと、正社員を派遣社員や有期雇用で切り替えています。政府も労働法制を改悪し「派遣」や「有期」を拡大できるようにした。職場では大変有能な青年、仕事もそつなくこなします。

「正社員で働きたいけど機会がない」と、あきらめ顔、企業の安易な雇用政策とそれを追認する政府が若者の希望を奪っているのではないのでしょうか。さすがに政府も国の財政や将来の社会保障など深刻な社会問題になり重い腰を上げ情報提供や就職支援を始めようとしています。フリータは社会にとっても青年にとっても不利なことが多くあります。

6月の一時金で特別一時金としてRSDでは一律5万円、関連会社CP、小田原CMSでは2万円、其々別枠支給され、4月に分割された日立GSTでは1万円の支給がありました。同じ職場で働き所属事業所の違いでどうしてと大変話題になりました。

## 処遇制度改革(案)と特別一時金支給

その後、会社から提案された処遇、雇用・勤務制度改革提案で賞与額は「成果」により決定の項があり、今期、RSDが社長賞受けたとの説明から改定案の「事業部業績反映」を先取りしたものとかんがえられます。

## ポリーナスもらってびびり 厚生年金保険料 など去年の十倍

ポリーナスの明細書を見てびびりました。

「話には聞いていたけれどこんなに負担が増えるなんて」と職場ではポリーナスから社会保険料の天引きの多さにおどろきの声が上がっていました。

私の場合、厚生年金保険・健康保険料・介護保険料で七万円、10倍もの負担増となりました。

17年前に買った家の

ローンと、社会保険料や税金などが引かれると手元に残るのは30万円にとどきません。

小泉内閣が打ち出した「骨太の方針」で、社会保障予算が減らされ、国民負担がズッシリ増えました。

「労働組合も国民ももっと怒らなアカン」と、カアちゃんをなだめたり、励ましたりでした。